

Rotary  
District 2620

よいことの  
ために  
手をとりあおう

UNITE  
FOR  
GOOD

2025-26 年度 RI メッセージ  
国際ロータリー会長  
フランチェスコ・アレツツォ氏

# Weekly Bulletin

## 藤枝南ロータリークラブ 会報



例会：毎週金曜日  
会場：小杉苑 藤枝市青木 2-35-30  
TEL：054-641-3321

事務局：藤枝商工会議所内  
TEL：054-646-3919 FAX：054-643-2000  
E-mail：jimukyoku@fujieda-south-rotary.jp

2025-26 年度

会長：鈴木寿幸 副会長：桑原 茂 幹事：加藤智之 副幹事：杉浦 聡

例会 第 1620 回 通常例会/小杉苑 第 1621 回 早朝例会

ソング：それでこそロータリー、星の界 ソングリーダー：鷺坂和也君

### 会長挨拶

鈴木寿幸君



皆さんこんにちは、本日も藤枝南ロータリークラブの例会にご出席いただきありがとうございます。先週の 12 月 6 日（土）7 日（日）に当クラブが所属しております。国際ロータリー第 2620 地区 2025-26 年度、地区大会が伊東市の川奈ホテル、及び伊豆市の日本サイクルスポーツセンター内にある「ペロドローム」にて開催され、藤枝南 RC からは次年度の地区大会実行委員の皆さんを中心に会員 18 名と長期青少年交換学生のベンツェ君と米山奨学生の「シンシン」さんの 20 名で参加をしてまいりましたので、印象深かったことを報告させていただきます。

地区大会 1 日目は、川奈ホテル 12:00 の受付、13:00 の点鐘でしたので、当クラブは、12:30 頃に受付をいたしました。受付場所が狭く、案内に不慣れなのか、大変混雑をしていました。会場は、大宴会場を利用し、机はなくパイプ椅子を並べたものでした。開会の点鐘後、RI 会長代理紹介に始まり、大会 4 委員会報告

各種表彰迄 3 時間以上パイプ椅子に座り続けたので、各クラブの会長・幹事さんたちの中に

は、退席者も多く散見されました。来賓紹介、大会報告・決議、セミナー等と休息のタイミングには、配慮が必要かなと感じました。17:30 閉会の点鐘があり、その後会場調整のため 15 分程度の若手の女性歌手の「ミニコンサート」が開催され、本会議から晩餐会へのスムーズな進行には、なるほどと感じました。

17:45 分には、RI 会長代を歓迎晩餐会が始まりました。

晩餐会は、1 テーブル 9 名、27 テーブルでしたので、250 名程の晩餐会でしたが、

とにかく、紹介が長く乾杯まで、お決まりの 30 分が経過しておりました。料理メニュー、ワインリストはさすがに川奈ホテルと思いましたが、時間とともに料理出しに遅れが多く見受けられ、ワインもリスト以外が多かったようでした。

2 日目のペロドロームは、地区役員・会長幹事は、1 階アリーナに 2 人掛けテーブルにパイプ椅子、他の参加者は 2 階観客席と別れての着座となり、大懇親会は、お弁当に、缶ビール 1 本で、乾杯の挨拶後、30 分後には、退席者が出始めました。

アトラクションの現役競輪選手による競輪模擬競技「銀輪は輝く」には現役競輪選手の気迫に圧倒され、感動しましたが、楽しみにしておりました「大懇親会」はどこで開催しているの？との状況でした。米山記念奨学生、青少年交換学生、学友は、右手側に円形プラスチックテーブルに椅子席が用意してあり、和やかなムードで本会議に参加をしておりました。ホストクラブは、伊東西ロータリークラブ、コ・ホストクラブは伊東・三島・下田・伊豆中央・三島西・せせらぎ三島ロータリークラブの開催でした。主催者のおもてなしに感謝して報告を終わります。





## 例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
12/26(金) 第 1622 回	夜間例会	小杉苑
1/9(金) 第 1623 回	新年賀詞交歓会	小杉苑
1/23(金) 第 1624 回	会員卓話	理事会
1/30(金) 第 1625 回	早朝例会	

## 今週の一言

杉浦聡君



「好きな言葉」というよりは、印象に残っている 2 つの言葉をご紹介しますと思います。

1 つはありふれた言葉ですが「一期一会」です。クラブにベンツェ君が来たことで、より身近にそれを感じています。この言葉が印象深くなった要因の一つに退会された高杉先輩があります。高杉さんが 2017 年に地区の会員増強維持委員会の委員長を務めていた時に、毎月ガバナー月信に寄稿をされておりました。その文章の中に「この世に生まれて出会わなかった方が良かった人はいないと常々思っている」というくだりがありました。さすがだな〜という思いで聞いたのを記憶しております。

1 年を通じたこのガバナー月信ですが、もう一つ印象に残っている文言があります。「働き一両、考え五両、知恵借り十両」この言葉は仕事の価値を表すもので、ただ単に指示待ち君で働くのであれば一両の価値しかない。自ら考え働けば五両、更に教えを乞うて働けば十両の価値があるという尊い意味が込められています。ご存じの通り、この言葉には続きがあります。「コッ借り五十両、ひらめき百両、人知り三百両、歴史に学ぶ五百両、見切り千両、最後は無欲万両」経営者感覚として損得勘定は欠かせないものですが、それを越えた領域に無欲万両のような、お客様との更に深い繋がりがあるんだと感じました。

1 年を通じたこのガバナー月信ですが、もう一つ印象に残っている文言があります。

「働き一両、考え五両、知恵借り十両」この言葉は仕事の価値を表すもので、ただ単に指示待ち君で働くのであれば一両の価値しかない。自ら考え働けば五両、更に教えを乞うて働けば十両の価値があるという尊い意味が込められています。ご存じの通り、この言葉には続きがあります。「コッ借り五十両、ひらめき百両、人知り三百両、歴史に学ぶ五百両、見切り千両、最後は無欲万両」経営者感覚として損得勘定は欠かせないものですが、それを越えた領域に無欲万両のような、お客様との更に深い繋がりがあるんだと感じました。

欲まみれの私ですが、ロータリー活動を通じ、達人の領域、「無欲万両」にいつか到達したいと願う今日この頃です。







### 山本空 ハンガリー交換留学11月レポート(2025'12'6)

ハンガリーに来て3か月が経ち、生活にも余裕が出てきて、毎日をととても楽しめています。月のはじめには、ホストファミリーとの間で困難な出来事がありました。ホストブラザーのプロムがあった日、私は体調が非常に悪く、学校を早退して一日寝込んでいました。しかし翌日、ホストから「I gave up on you yesterday」と言われ、とてもショックを受けました。自分も本当は参加したかった行事だったため、その言葉に強いもやもやを感じました。ただ、この出来事をきっかけに、私は予定の共有を増やし、感謝をこまめに伝えるなど、関係をより良くする工夫を始めました。

学校では大きな変化がありました。私は先生にクラス変更をお願いし、学校側も快く対応してくれました。前のクラスが嫌いだったわけではありませんが、別のクラスに仲の良い友達何人かおり、授業の雰囲気もとても活発で、自分に合うと感じたため変更しました。このクラスは全員が積極的に発言し、学びに対して前向きです。また担任の先生はハンガリー人ですが学校では英語しか話さず、月に一度、英語で日記のようなものを書く宿題もあります。その内容がとてもユニークで、毎回楽しんで取り組んでいます。

このクラスでは、最高学年のプロムで披露するハンガリーの伝統的なダンスを踊る予定です。衣装も非常にかっこよく、今からとても楽しみにしています。

さらに、私が所属している学校のサッカー大会では、11の地区の中で2位になることができました。

11月25日には、日本大使館が主催する在ハンガリー日本人学生向けのイベントに参加しました。ハンガリーの情勢の話や音楽パフォーマンスを楽しんだ後、久しぶりの日本食（からあげ、お好み焼き、親子丼など）をいただき、とても嬉しかったです。そこで多くの大学生と関わり、医療・音楽・ITを学ぶ先輩方の経験を聞いて、ハンガリーの大学にも興味を持つようになりました。皆さんは自分のやりたいことが明確で、多くの経験を積んできた方ばかりで、自分も将来の軸をしっかり持てる人間になりたいと感じました。

また、大使館のプログラムで国会議事堂を訪れる機会があり、約 20 名の日本人生徒とともに見学しました。副議長との対談では、日本を訪れた際の体験談や、これから 10 年でハンガリーが直面する課題について質問しました。AI が大きなテーマになるとお話しされ、非常に印象に残りました。建物は外装・内装ともに壮麗で、忘れられない経験となりました。

11 月 22 日には、ハンガリーのロータリー100 周年イベントがブダペストで開催されました。ロータリーの歴史や現状について学び、東京のロータリークラブの方々や元留学生・奨学生の方々とも交流し、スピーチや音楽のパフォーマンスを鑑賞しました。会食では多くの方と直接話すことができ、とても楽しい時間でした。東京のロータリークラブは、ハンガリーのクラブと協力してウクライナの学校への支援をしていることも知り、ロータリーのつながりの大きさを実感しました。

ロータリーの活動では、クリスマスマーケットにも訪れました。非常に美しかった一方で、観光客が驚くほど多く、とても混み合っていました。その後ロータリーメンバーのオフィスでピザを食べ、映画を観たり、南アメリカ発祥のマテ茶をいただいたりと、落ち着いた時間を過ごしました。11 月 30 日には、アメリカの留学生のホストの方に招かれ、2 部リーグのサッカー観戦にも行きました。応援の熱量が高く、日本とは異なる雰囲気でした。

12 月 5 日の夜は、ハンガリーではサンタクロースが来る日らしく、ホストからお菓子の入った大きな靴下をいただき、とても嬉しかったです。

生活面では、困ることが少なくなってきました。ハンガリー語は聞き取れる単語が増え、簡単な文章なら話せるようになってきています。語彙の習得は課題ですが、分かることが増えた分、友達や先生に質問し、理解も早くなりました。ただ、ハンガリー人同士の会話はまだついていけず、置いていかれることもあります。英語に訳してくれる皆さんには本当に感謝しています。ハンガリー語にも少しずつ愛着がわいてきました。

次の一か月は冬休みに入るので、さまざまな場所に行き、多くの人と話し、冬にしかできない経験を積みたいと思います。クリスマスも年越しもホストファミリーの親戚と過ごす予定で、とても楽しみです。3 か月はあっという間でしたが、残りの期間も悔いのないよう、成長を続けていきます。

(担当/秋谷貴也君)